

～ Let's Go to Adelaide!!! ～ 高校2学年特進コース オーストラリア・アデレード研修

先生の声

8月1日より2学年特進コースはアデレード語学研修を実施しました。生徒はアデレードに着いてすぐホストファミリーと合流し、翌日から5つの学校に分かれて現地の学校に通いました。



英語の授業を受けるだけでなく、英語でオーストラリアの地理や歴史、文化を学びました。また、日本で課題研究の授業(探究学習)で扱っているテーマについて調べたことを1人ずつ英語で現地の生徒に向けて発表しました。授業の時間以外でも、休み時間や昼食の時間には、現地の生徒と談笑する姿やスポーツを通じてコミュニケーションを図る姿が見られました。

はじめは緊張している様子もありましたが、自分の英語が相手に伝わったと分かった時の生徒たちの表情は達成感に溢れていました。研修最終日には、ホストファミリーとの涙のお別れもありました。

2週間という短い期間の中で、コミュニケーションを多くとったことで、それぞれにとって本当の家族のような大切な存在になりました。生徒の異文化理解を深め、英語学習に関するモチベーションをあげるだけでなく、社会性も身につける研修になりました。

小長谷歩美先生
(特進コース M 組担任)

生徒の声

オーストラリア研修を通して



私達2年生特進コースの生徒は、南オーストラリア州アデレードに語学研修に行きました。出発前は楽しみな気持ちと不安な気持ちが入り混じっていましたが、現地での英語のレッスンや様々な体験は非常に充実したものとなりました。もちろん、学びは英語だけではありません。

オーストラリアという国はどのような歴史を持つのか、自然環境はどのようなものか、文化はどのようなものがあるのかなど、非常に多くのことを学ぶことができました。また、この研修の中では仲間のありがたさというものを改めて実感しました。実際に、一人ではなかなかうまくコミュニケーションが取れなくても、仲間の手助けがあったことで乗り越えることができました。この2週間で特進コース2クラスの垣根を超えて絆を深めることができましたように感じます。今後も、この経験を心に刻み、学校生活を送っていきたいと思います。

内田智悠
(2年L組)

日にち	曜日	時刻	スケジュール
8月1日	火	19:00 22:00	羽田空港 国際線ターミナルに集合 カンタス航空(QF026便)にて空路シドニーへ
8月2日	水	8:50 12:05 13:40	シドニーに到着 乗り換え カンタス航空(QF737便)にて空路アデレードへ アデレードに到着 専用車で各ホスト校へ ホストファミリーと対面後、各ホームステイ先へ
8月3日	木	午前/午後	★英語レッスン School Experience Program 学校体験授業に参加
8月4日	金	午前/午後	★英語レッスン School Experience Program 学校体験授業に参加
8月5日	土	終日	休日
8月6日	日	終日	休日
8月7日	月	午前/午後	★英語レッスン School Experience Program 学校体験授業に参加
8月8日	火	午前/午後	★英語レッスン School Experience Program 学校体験授業に参加
8月9日	水	終日	★校外研修(野生動物園など)
8月10日	木	午前/午後	★英語レッスン School Experience Program 学校体験授業に参加
8月11日	金	午前/午後	★英語レッスン さよならパーティー(修了証授与)
8月12日	土	終日	休日
8月13日	日	14:20 16:40 20:20	現地ホスト校に集合 専用バスにてアデレード空港へ カンタス航空(QF742便)にて空路シドニーへ シドニー到着 乗り換え カンタス航空(QF025便)にて空路羽田へ
8月14日	月	5:25	羽田空港 国際線ターミナル到着 入国手続き後、解散



希望制

シンガポール研修

先生
の声

多民族国家で国際感覚を磨く

交通の要衝で世界の金融センターとして発展したシンガポールは、4言語が公用語とされる多民族国家で、英語が共通語として日常生活に浸透しています。東京23区とほぼ同じ広さの島に、中国系、マレー系（多くはムスリム）、タミル（インド）系住民が居住、旧宗主国イギリスの影響も根強く残り、異文化体験、英会話のスキルアップに最適な研修地となっています。移動が主となる初日・最終日を除く4日間には「歴史認識・平和学習・異文化理解の日」、「現地大学生と市内グループ研修」、「シンガポール国立大学訪問」、「セントーサ島観光」とそれぞれテーマが設定され、生徒が英語を使って主体的に活動する場が随所に盛り込まれています。希望すれば、シンガポール国立大学（THE世界大学ランキング19位）での、英語による課題研究成果発表も可能です。治安もよく海外初心者でも安心して参加できる研修で、生徒たちは英会話に自信をつけると同時に、国際感覚を磨きました。

石塚俊文先生
(国際部長)生徒
の声

私は高校1年生から3年生を対象とした、7月15日から20日の6日間のシンガポール研修に参加しました。

シンガポール国立大学に通う大学生たちに大学内やシンガポール市内を案内してもらい、そこでは日本では見ることのできない建造物を数多く見る事ができました。また、多国籍文化の国であるため、移動することに景色が変わっていくのに驚きと新鮮さがありました。シンガポールのこれまでの歴史や多文化共生社会を学び、国籍、民族などが違っても、互いに文化的背景を認めて尊重し合っていたことに素晴らしさを感じました。

そして、現地の様々な人々とコミュニケーションを積極的にとり、多くの交流ができた反面、普段の授業で学んできた英語力よりさらに上のスキルが必要だと気づかされ、今までよりも英語を学ぶ意欲が湧き、いかなる場面でも対応できる力を身に付けたいと思いました。他にも、マリナベイやUSSなどの場所でもとても楽しく充実した思い出を作ることができました。今回シンガポール研修で学んだ経験や知識を今後に活かし、自分自身の英語力の技術を上げられるように頑張りたいと思います。

吉田 華
(3年C組)

月日	時間	スケジュール
7/15(土)	8:30	羽田空港 第3ターミナル3階集合
	11:30	羽田発 日本航空 (JL037 便)
	17:40	チャンギ空港着 (専用車にて移動)
	19:00	タンマン高校到着、夕食 (学食)
	21:00	学生寮へ移動、オリエンテーション
7/16(日)	7:00	朝食 (学食)
	終日	《歴史認識・平和学習・異文化理解の日》(専用車にて移動) ・日本人墓地公園 ・Former Ford Factory (戦争博物館) ・戦争記念公園 ・シンガポール国立博物館 ・リトルインディア ・アラブストリート ・チャイナタウン
7/17(月)	18:00	学生寮到着、夕食 (学食)
	7:30	朝食 (学食)
		《現地大学生とシンガポール市内グループ研修》
	9:00	現地大学生と Meet (高校教室) アイスブレイク、自己紹介
	10:00	オーチャードロードへ移動 大学生と班別行動 (散策、街中でインタビュー、昼食)
	14:00	マーライオン公園集合
17:00	ガーデンズバイザベイ	
18:00	ホーカーズで夕食、Spectra「光と水のシンフォニー」見学 終了後、学生寮へ	
7/18(火)	7:00	朝食 (学食)
	9:30	《シンガポール国立大学訪問》 シンガポールマネージメント大学「キャリアセミナー」
	13:15	シンガポール国立大学、大学のフードコートで各自昼食
	14:00	現地大学生との Exchange セッション、キャンパスツアー
18:00	夕食、ナイトサファリ 終了後、学生寮へ	
7/19(水)	7:00	朝食 (学食)
	9:00	学生寮チェックアウト、専用車でセントーサ島へ
	終日	《セントーサ島 終日観光》 自由行動 (ユニバーサルスタジオシンガポール他)
	18:00	集合、専用車で空港へ移動
	19:30	チャンギ空港着
7/20(木)	21:15	チャンギ空港発 日本航空 (JL036 便) 05:50
	5:50	羽田空港 第3ターミナル到着、解散



カナダ・バンクーバー研修

希望制



先生の声

「世界で最も住みやすい都市」で英語レッスン

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い2019年度以来中止となっていたバンクーバー語学研修が、4年ぶりに復活しました。バンクーバーは「EIU 世界で最も住みやすい都市ランキング」上位の常連で、2002年から2010年までの9年間は連続して1位に選出されています。

本研修が組まれている夏は、晴天が多く、この地のベストシーズンです。

授業は本校生専用クラスで実施され、午前は英語レッスン、午後は各種アクティビティ。プログラムはすべてがオールイングリッシュで行われますので、リスニング力、スピーキング力が鍛えられます。現地高校生や各国留学生との交流で、積極的に会話する生徒たちの姿は、とても頼もしいものでした。滞在先は全員がホームステイ、ホストファミリーはアジア系が多く、カナダの多文化主義を肌で感じることができます。現地で活躍する本校卒業生の話を聞くこともでき刺激を受けました。生徒たちは、英語力ばかりでなく、精神面でもたくましくなりました。



石塚俊文先生
(国際部長)

月日	時刻	スケジュール
7/18(火)	16:55	成田空港出発(AC004便)
	9:50	バンクーバー空港到着(専用バスで移動)
	12:00-14:00	現地校CICCC、昼食、オリエンテーション、
	14:00	ホスト宅へ移動(ホストの車)
7/19(水)	8:30-12:00	プレースメントテスト、英語レッスン
	12:40-15:00	ダウンタウンツアー (ガスタウン⇒カナダプレイス⇒スタンレーパーク)
7/20(木)	8:30-12:00	英語レッスン
	12:40-15:30	グランビルアイランド散策
7/21(金)	8:30-12:00	英語レッスン
	12:40-15:00	国際交流イベント①(現地高校生との交流座談会)
	15:10-16:00	特別講演(JAPADOG代表取締役社長 田村徳樹氏)
7/22(土)	8:30-12:00	英語レッスン
	12:40-15:30	プレゼンテーション、日本へのポストカード作成
7/23(日)	全日	ホストファミリーと過ごす
7/24(月)	8:30-12:00	英語レッスン
	12:40-15:30	サイエンスワールド訪問
7/25(火)	8:30-12:00	英語レッスン
	12:40-15:30	メトロタウンショッピング
7/26(水)	8:30-12:00	英語4技能レッスン
	12:40-15:30	リンキャニオンハイキング
7/27(木)	8:30-12:00	英語4技能レッスン
	12:40-15:30	国際交流イベント②(各国留学生との交流座談会)
7/28(金)	8:30-12:00	英語4技能レッスン
	12:40-14:00	修了式
7/29(土)	8:40	現地校CCEL出発(専用バスで移動)
	9:40	バンクーバー空港着
	12:40	バンクーバー空港出発(AC003便)
7/30(日)	14:55	成田空港到着・解散



生徒の声

私は、7月の下旬に2週間のバンクーバー研修に参加しました。

元々英語が得意ではなく、また内気な性格であったため、苦手を克服するために参加することを決心しました。この研修は、ホームステイで日本とは違う食べ物や習慣を実際に体験することができ、興味深いことも多くありました。最初は緊張や不安があり、話しかけることができませんでしたが、ホストファミリーが優しく私たちを受け入れてくれました。日が経つにつれ、ファミリーや現地で通っていた学校の先生と仲が深まり、本当の家族のようになれました。

この研修では、積極性と知らない土地でまったく知らない人たちとも一緒に1人で生活していくことを学びました。言語や文化が異なる場所ではじめて出会った人たちと過ごす2週間はとても充実しており、その一方で困る場面もありました。そういった時のファミリーとの会話はとても大切であり、ファミリーと積極的に話をする機会にもなりました。相手から話しかけてくれるのを待つのではなく、自分から進んで話しかけるという積極性も海外では重要です。



齋藤史佳
(3年G組)

部活動報告

～ Club Activity ～

硬式野球部

●2023年度第105回全国高等学校野球選手権記念茨城大会
ベスト8 (VS 那珂湊、取手松陽、佐和、土浦日大)

東洋大牛久高校・硬式野球部顧問に就任して2年目となり迎えた大会でした。硬式野球部は長堀監督、小川部長、日下コーチの指導の下、日々練習に励んでいます。着任してから練習に対する取り組みや意識を見直し、一球一球に思いを込めて勝負に対する姿勢を徹底しました。毎日の取り組みにより試合でも粘り強さと諦めない姿勢が身につく今回ベスト8という結果になりました。日を増すごとに部員にも自覚と責任が芽生えてチームとしても雰囲気から成長を感じました。今後も野球部は、日々悩み葛藤しながら、それでもチームで切磋琢磨しながら、前向きに頑張ります。

夏の大会でも吹奏楽研究部をはじめとするダンス部、応援団の多くの生徒、先生方の応援が野球部の力となりました。今回の結果を超えられるように日々の練習含め一つずつ階段を登っていきます。

今後も今回の結果を超えるように日々精進します。今後とも硬式野球部の応援の程宜しくお願い致します。

硬式野球部顧問 石川 慧先生

硬式野球部の今年度の夏の大会は、ベスト8という結果で幕を閉じました。新チームになってから大会結果ベスト8以上という目標を掲げ、それを達成した中での準々決勝の相手は土浦日大。この上の世界に行くことはできませんでしたが、結果以上の大きなものを得られたと思います。高校球児として活動できる期間は、およそ2年半。その短い期間にはその場を経験した者しか感じることのできない「何か」があります。我々は、その「何か」を追い求めて精進してきました。あいさつの徹底、グラウンドの環境整備、制服の着こなしなど人間力の向上にこだわり、このことを活かして野球に繋げようと思いました。しかし、全てが上手くはいきません。結果が出ない、勝てないという時期もありましたが、そう感じたときこそ全員で原点に帰り、改めるようにしてきました。

私達はこれからも徹底的に人間力の向上にこだわっていきます。これからも硬式野球部の一挙手一投足に注目しながら、熱い応援をよろしくお願いします。

主将 林 健太
(3年0組)

■試合結果

2回戦	東洋大牛久	○18-2●	那珂湊
3回戦	東洋大牛久	○7-6●	取手松陽
4回戦	東洋大牛久	○4-0●	佐和
準々決勝	東洋大牛久	●1-4○	土浦日大



陸上競技部・駅伝部

●令和5年度 全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

女子円盤投《予選》※予選通過ライン 37 m 50

藤田 結愛 (1-O) 37 m 54 ⇒予選通過

荒井ひめ乃 (3-D) 34 m 31

南雲いろは (2-C) 34 m 09

女子円盤投《決勝》

藤田 結愛 (1-O) 38 m 10 第7位入賞



水泳部

●第74回関東高等学校選手権水泳競技大会 出場

●第91回日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会 出場

麻生 大貴 (3-M) 中尾 耀 (2-C)

川波 優里 (2-D) 星 直輝 (2-J)

中尾 莉空 (2-K) 重久 陽太 (2-L)

渡部美乃莉 (2-M) 西尾 咲穂 (1-L)

小松原七海 (1-K)



相撲部

●令和5年度 全国高等学校総合体育大会相撲競技大会

《団体戦》ベスト16

武甕 仁 (3-O) 佐久間秀人 (2-O)

中山十葵琉 (3-O) 野口 歩夢 (2-O)

仲野 奏人 (2-O) 谷川太志郎 (1-O)

齊藤風士郎 (3-O)

《個人戦100kg級》出場

齊藤風士郎 (3-O)

《無差別級》出場

武甕 仁 (3-O) 中山十葵琉 (3-O)

仲野 奏人 (2-O)



このほかにも、
空手道部や女子硬式テニス部など、たくさんの部活動が
数多くの大会で優秀な成績を収めています！